

「ゾーン30プラス」の整備による効果検証結果(静岡県静岡市中田地区)

- 中田地区では令和4年12月に「ゾーン30プラス」の整備計画を策定し、令和5年12月までに短期対策（交通規制・物理的デバイスの設置等）を完了。
- 効果検証を行った結果、自転車走行位置が適正化され、エリア内の交通事故発生件数が減少。
- 地域住民へのアンケート結果では約79%の住民が「安全が確保された」と回答。

位置図

静岡県
国土地理院地図白図を加工

推進体制

- 静岡県警察本部
- 静岡県静岡南警察署
- 中田一丁目自治会
- 中田二丁目自治会
- 静岡市教育委員会
- 静岡市役所

取組経緯

地域住民等からの意見を踏まえた交通安全対策を実施

R1.11～R2.9：実態調査結果を踏まえた対策検討

R2.9：関係機関協議

R3：詳細設計

R4.7～8：関係者協議

R4.12：「ゾーン30プラス」整備計画の策定

R5.12：短期対策の整備完了

R7.2：効果検証の実施



凡例

- ゾーン30プラス
※破線は整備区域に含まれない道路
- 通学路
- 効果検証実施箇所（自転車走行位置交通量調査）
- 道路管理者による対策
- 警察による対策

効果検証結果

①車両走行速度調査（狭さく設置区間）

	平均速度	30km/h 超過割合
整備前	22.7km/h	17.4%
整備後	22.4km/h	18.5%

※ETC2.0プローブデータより
整備前：R5.4 整備後：R6.4

②自転車通行方法違反割合（A地点）
（左側を走行していない割合）

	割合
整備前※	62%
整備後※	39%

※整備前：R1.11.13のタビーク南行き1時間
整備後：R6.11.13のタビーク南行き1時間

③交通事故発生件数（エリア内）

	発生件数
整備前※	10件/年
整備後※	4件/年

※整備前：H31.1～12の死傷事故件数
整備後：R6.1～12の死傷事故件数
静岡県警事故発生マップより集計

④アンケート調査

回答内容	割合
かなり安全が確保されたと思う	17%
若干安全が確保されたと思う	62%
安全が確保されたとは思わない	20%
分からない	-

N=163

対策の実施状況

自転車走行位置の明示
カラー舗装

狭さく（単路部）

イメージ狭さく（交差点）

カラー舗装、路面表示